



おうちのひとのための

交通安全新聞 1月号

2019



交差点での安全確認の順番は…

「右・左・前・後ろ・右」です



のむらさん

このように、最初と最後に右を確認するのは理由があります。それは、車は左側通行なので、道路を横断する際に、まず気を付けないといけないのは右側だからです。左を見たあとに、もう一度右を見るのは、左を見ているうちに、いつの間にか右側から車が近づいている危険性があるからです。車はスピードが出る乗り物です。ブレーキをかけても、すぐには止まることができません。雨や雪の日が多くなるこの時期は、路面が濡れていたり凍結していたりと、いつも以上に交通事故の危険性が高くなるので、横断の際は時間と気持ちに余裕を持ち、無理な横断をしないよう心がけましょう。

「右を見て 左を見て もう一度右を見て

車がきていなかったら 渡りましょう」

とび出し事故を防止するためには道路を横断する前「止まる」「見る」を習慣づけることや「見る」順番を守ることが大切です。

あけましておめでとございませす
今年もよろしくお願いいたします
子どもたちが安全に過ごせますように



サバーン アゼリアン

冬のおねがい！ ～送迎時～

雨や雪の日は、車の乗り降りに困りますよね。カサを差しながら荷物を持っていたりすると手が塞がって煩わしいし、寒い車内をお子さんのために暖めたいと思う方もいるでしょう。お子さんより先に車に行き、荷物を積んだりエンジンをかけている姿をよく見ます。その間、お子さんが1人でとぼとぼ歩いたり、駐車場をうろうろしたり・・・とても危険です。

送迎時の駐車場はみんな慌てているし、小さな子どもの姿は車に近寄ると死角に入ってしまう、目視しにくくなります。

事故にあわないよう、まずお子さんを車に乗せてください。



上のお子さんも車に乗せてから、赤ちゃんのお世話をしましょう！

車の乗り降りは 子どもだけでさせず 保護者の手で



いとちちゃん